

第九十回帝國議會
衆議院

罹災都市借地借家臨時處理法案委員會會議錄(速記)第四回

付託議案
罹災都市借地借家臨時處理法案(政府提出、貴族院送付)

昭和二十一年八月三日(土曜日)午前十三時十分開議

出席委員

委員長 本田 英作君

理事 石原 圓吉君 理事 鈴木 仙八君

理事 林 連君

廣川 弘禪君 九鬼紋十郎君

大矢 省三君 鹿島 透君

酒井 俊雄君 中田榮太郎君

出席政府委員

內閣事務官 財津 吉文君

內閣事務官 大橋 武夫君

司法事務官 古島 義英君

司法事務官 奧野 健一君

司法事務官 加嶋 五郎君

厚生事務官 加藤 清一君

本日ノ會議ニ付シテ議案

罹災都市借地借家臨時處理法案(政府提出、貴族院送付)

○本田委員長 開會致シマス、質問ヲ續行致シマス、酒井俊雄君

○酒井委員 本法案ハ、彼ノ戰爭ニ依リマシテ罹災シマシタ、洵ニ氣ノ毒ナ人々ノ保護、並ニ都市復興ノ促進、ソレカラ戰爭ニ依リマシテ土地、建物ニ關スル法律關係ガ色々複雑ニナツテ來テ居リマス、其ノ整理調整等ノ立場カラ之ヲ設ケラレト云フ御趣旨デアリマス、洵ニ必要ナコトデアリマシテ、私共モ一日も早く是ガ實施ヲサレマシテ、只今申シマシタ色々目目的

方貫徹サレルコトヲ、心カラ希望スルモノデアリマス、特ニ御承知ノ通り、戰災ニ依リマシテ家ヲ失ヒ、或ハ家具、什器ヲ失ヒ、衣類、寢具ヲ失ツテ、住ムニ家ナク、寢ルニ夜具ナシト云フ憐レナ人々ガ、隨分多クノ數ニ上ツテ居ルノデアリマシテ、之ヲ此ノ儘推移サセラルコトハ、國家ノ爲ニ重大ナル問題デアリト思フノデアリマス、併シ私ハ、少シ言ヒ過ギカモ分リマセヌガ、本法案ハソレ等ノ人達ヲ救フ爲ノ法案ト致シマシテハ、甚ダドウモ意ニ滿タナイ所ガ澤山アルノデアリマシテ、單ニ此ノ戰爭ニ依リマシテ複雑ニナツタ都市ノ土地、建物ニ關スル法律關係ノ整理ト云フコトニ役立テル爲ニハ、是ヲ結構ト思ヒマスルガ、罹災者ノ保護救済ト云フ立場カラ此ノ法案ヲ眺メテ見ルト、非常ニ意ニ滿タナイ所ガ多ク、ウニ考ヘラレルノデアリマス、サウ云フ點ヲ少シク申述ベマシテ、此ノ點ニ對スル政府ノ御意思アル所ヲ御伺ヒシタイト思フノデアリマス

ソレハ、此ノ本法案ノ形式ノ上カラハ、罹災ヲ致シマシタ人々ノ救済ハ、一應是デ目的ヲ達セラレト云フ仕組ニハ確カニナツテ居リマスルガ、事實此ノ法案ノ條文ニ依ツテ、ソレ等ノ罹災サレタ氣ノ毒ナ人々ガ救済サレルカドウカト云フコトニナリマス、實際トニハ此ノ法案ノ恩恵ヲ受ケルコト云フコトガ、大部分ノ人々ニ於テ出來ナイ結果ニナルノデアリカト考ヘルノデアリマス、ト申シマスノハ、罹災當時借家權ヲ持ツテ居リマシタ者、其ノ家

ニ住ンデ居リマシタ者ハ、此ノ法律ガ實施サレマス時カラ一年間ノ間ニ、地主ニ對シテ借地ノ申込ヲナシ、或ハ借地權者ニ對シテ其ノ讓渡ノ申込ヲナセバ、借地ノ讓渡ヲ受ケ、或ハ借地權ハ優先ノ契約ノ成立ヲ見ルコトガ出來ルト云フ形ノ保護、形ノ上カラ見レバ洵ニ結構ト思ヒマスガ、第一ノ難點ハ、昨日モ武蔵サノ質問ニゴザイマシタヤウニ、今六大都市アタリデハ、都市ヘ轉入スルコトニ付キマシテ制限ヲ致シテ居リマスガ、果シテ此ノ制限ガ、其ノ一年間ニ撤廢ニナルカト云フコトガ大ナル疑問デアリト思フノデアリマス、其ノ點ニ付キマシテ、主トシテ轉入制限ハ食糧問題ニ關係シテデアリト思フノデアリマスガ、サウ云フ都市轉入ノ事情ガ若シ緩和シナカツタ場合ニハ、一體ドウナルノダ、是ガ緩和シナカツタ場合ニハ、此ノ法文ハ空文ニ終ルノデアリカト云フコトヲ考ヘルノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテ、本法律ニ依ツテ保護ノ對象トナル所ノ罹災者ハ、轉入ヲ特ニ許スト云フヤウナ特例デモ、萬一ノ場合ニハ設ケラレル御意思ガアルカドウカト云フコトヲ、一應御伺ヒシタイノデアリマス

次ニモウツハ、復興院アタリデハ、安イ建物ヲ建て、家賃ヲ安くシテ、是等ノ罹災者ニ之ヲ貸シ與ヘルト云フコトニ一生懸命ニナツテ居ルト云ハレルノデアリマスガ、ソレハ恐ラク本法律案ノ直接ノ内容ヲ成ス所ノ、借地借家ト云フモノニ關係スルモノデハナイト思ヒマス、事實上復興院デナサル所ノ

貸家ナルモノガ澤山出來レバ、勿論罹災者ハ救済サレルト云フコトニナリマスガ、併シ是モ復興院自ラ仰シヤルヤウニ、ソシニ澤山期待ノ出來ルモノデハナイシ、假ニ是ガ或ル程度出來タト致シマシテモ、ソレハ本法案ノ内容ヲ成ス所ノ貸家デモ何デモナイ譯デアリ、本法案ニ依ツテ救ハレル管ノ罹災者、サウ云フモノトハ直接ノ關係ノナイ事柄ト思ヒマス、ソコデ本法案ニ依ツテ保護シヨウトスル所ノ罹災者、是等ノ人々ノ立場カラ言ヒマスルト、ドウシテモ元住ンデ居ツタ所ニ自分ガ土地ヲ借りテ、自分ガ家ヲ建テルト云フコトガ實質上ノ中心ニナル譯デアリマス、オ上ガヤツテ下サル所ノ建物ナルモノハ、是ハ罹災者一般ニ對スル救済デアリ、施設デアルト私ハ思フノデアリマス、本法案ガ對象トシテ居ル罹災者ト云フモノハ、ヤハリ自分デ家ヲ建テルト云フコトガ中心ニナルノダト考ヘルノデアリマス、然ラバ本法案ニ依リマシテ、優先ノ自分デ土地ヲ借りテ、家ヲ建テルト云フ場合ヲ考ヘテ見マスルト、是ガ非常ニ形ノ上デハ確カニ一應整ツテ居ルノデアリマスルガ、不可能ナコトデハナイカ、全ク不可能ト云フコトデハナイカ、此ノ法律ニ依ツテ保護サレル罹災者全部カラ見マスルト、大多數ノ人ニ取ツテハ、自分デ家ヲ建テルト云フコトハ不可能ニ近イト思フノデアリマス、假ニ相當多數ノ預金ヲ持ツテ居ルシマシテモ、今預金ハ封鎖サレテ居リマスルシ、武蔵サノ

ノ質問ニモアリマシタヤウニ、其ノ建築ノ爲ニ認メラレル額ハ一萬圓デアルト云フコトニナリマスレバ、事實此ノ點ニ於テモ、自分デ家ヲ建テルトハ不可能ナコトト思フノデアリマス、況シテ、私共名古屋デアリマスルガ、名古屋アタリノ罹災者ノ大部分ノ狀態ヲ、色々調査サレタモノヤ、或ハ我ガ直接ニ見聞シタ所ニ依レバ、モウ家財道具モスツカリ焼カレテシマツテ、職ハ失ツテシマツテ居ル、其ノ日ノ生活ニモ追ハレテ居ル者ガ大部分デアリマス、殆ド八割、九割モ斯ウ云フ人ニ依ツテ滿タサレテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ人ガ、假ニ一年以内ニ申込メバ優先ノ土地ヲ借りルコトガ出來ルサウダ、サウ云フ法律ガ出來タト云フコトニナツテ、申込ンデ見マシタ所ガ、サウシテ轉入ガ許サレルト假定致シマシタ所ガ、事實家ヲ建テルト所ノ力ガナイ、資金モナイ、材料ガナイト云フコトハ別問題ト致シマシテモ、大體材料ガアツテモ資金ガナイト云フコトニナリマスレバ、一體ドウナルノダ、一年以内ニ申込メバ茲ニ契約ガ成立スル、成立シテモ、半箇年以内ニ建物所有ノ目的デ其ノ土地ヲ使用シ始メナカツタナラバ、此ノ契約ハ駄目ニナツテシマフノデアリマス、サウ云フコトニナリマスレバ、法制ト致シマシテハ洵ニ立派ナモノデアアル、併シナガラ實際上ニ此ノ法律ニ依ツテ救済サレルト云フ部面ハ、罹災者ノ中ノ僅カナ者ニ止ツテシマフノデアリマシテ、八割、九割モノ人々ハ、立派ナ法律ノ出來タノ

ヲ眺メルダケノコトデアリマシテ、之ニ依ツテ實質上救済サレルト云フコトハ不可能デアルト、私ハ考ヘルノデアリマス、斯ウ云フ點ニ付キマシテ、一ツ關係當局カラ先ツ御答辯ヲ御願ヒシダイ

○古島政府委員 酒井サシノ御質問ハ洵ニ御尤モデアリマス、此ノ法案戰災ニ依ル被害者ヲ全部救済スルコトノ出來ナイノハ、御説ノ通りデアリマス、併シナガラ戰災者ガ住ムニ家ナク、食フニ其ノ職ガナイ、斯ウ云フ場合ニ、之ヲ全般のニ法律デ救済スルコト云フコトモ、實際上ノ問題トシテハ困難デアリマス、自分ノコトヲ申上ゲテハ洵ニ恐縮デアリマスガ、私モ身ヲ以テ逃レタ一人デアリマシテ、一物モ身ニ著ケズニ逃レタ人間デアリマス、其ノ立場カラ見マスルト、此ノ法律デ全部救済スルコト云フヤウナコトガ到底出來ヌコトハ、私自身モ承知致シテ居リマスガ、借テ翻ツテ考ヘテ見マス、戰災者ヲ全面のニ救済スルコトガ、一本ノ法律デ出來ルカドウカト申シマス、一切ノ其ノ他ノ施策ヲ致サネバ救済ハ出來マセヌガ、借テ茲ニ問題ニナリマスノハ、轉入ヲ許サレナイ、轉入ヲ許サレヌモノガアルニ拘ラズ、斯ウ云フ法律ヲ措ヘテモ駄目デハナイカト云フ御話デアリマスガ、是ハ全ク考ヘテ異ニスルノデアリマス、轉入ヲ許サレタガ借テ建テル場所ガナイ、都會地ニ入ルコトハ許サレタノデアリガ、自分ノ住ム所ヲ措ヘヨウトシテモ、其ノ場所モナイト云フヤウナ人ハ、更ニ轉入ヲ許サレテモ轉入スルコト能ハザルコトニ相成ルノデアリマス、若シ是ガ九月一日ナリ、十月一日ナリカラ、此ノ法律ガ施

行サレルコトニナリマスレバ、向フ一年間デアリマスカラ、其ノ間ニハ轉入モ許サレルコトニナリマセウ、轉入モリ、建テルコトニナリマスレバ、先ヅ以テ自分ノ住ム所何トカ考慮セネバナラヌノデアリマス、ソコニ於テ管テ自分ガ住ンデ居ツタ、若シハ借リテ居ツタト云フ場所ニ來テ、此處ニ家ヲ建テタイト思フガ、是ハ何處ニ交渉シテ宜イカ、交渉シテモ借リテ居ナイト云フ時ニハ、ヤハリ此ノ法律ヲ措ヘテ置キマシテ、自分ハ借家デ居ツタノデアリガ、借地權ガアレバ地主ニ向ツテ借地ノ申出ヲスル、或ハ又借地人ガ家ヲ措ヘテ居ツテ、其ノ家ニ住ンデ居ツタト云フ人デアレバ、前借地人ニ向ツテ、コチラニ譲渡シテ呉レヌカト云フ交渉ヲスル、ソコデ餘ロニ、自分デ建テル家ヲ工夫致スルコト云フコトモ考ヘラレルノデアリマス、サウスレバ、先ヅ以テ此ノ住ノ問題ガ大體ニ於テ日鼻ガ付クノデアリマスルカラ、ゾコニ轉入サレタ意味ヲ通ズルノデアリマス、而モ又、轉入ヲ許サレテモ、建テル資金ガナイデハナイカト云フコトデアリマスガ、勿論其ノ通りデアリマス、全ク資金ガナイト云フ時ニハドウスル譯ニモ参リマセヌガ、本會議大ニ申シテモ、理由ヲ説明致シタ時ニ申シタヤウニ、ヤハリ是ハ家ヲ建テルト云フ意欲モアリ、資料モ持ツテ居ルノデアリガ、而モ場所ガナイト云フヤウナ困ツテ居ル者ガアルナラバ、ソレヲ救済シヨウデハナイカ、斯ウ云フ意味合ヒカラ出デ居ル、殊ニ其ノ意味ト、一方ニ於テハ復興ヲ促進スルコト云フ意味合ヒトガ兼ネ合ツテ、此ノ法案ガ出テ居ルト云フ説明ヲ致シマシタガ、左様ナ意味デ出テ居ルノデアリマス、カルガ故ニ、此ノ法案ニ於

テ全般ヲ保護スルコト云フヤウナコトハ、司法當局ト致シマシテモ考ヘテ居リマセヌガ、少クモ建テル意欲ガアリ、建テル資金ヲ有スルニ拘ラズ、建テルコトガ出來ヌト云フヤウナ者ガアリマスレバ、ソレヲ救済セネバナラヌト云フノデ、急イデ此ノ法案ヲ出シタ次第デアリマス

○酒井委員 勿論私ハ、此ノ法律ニ依リマシテ全部ノ罹災者ヲ救ヘト云フヤウナ御尋ネラシテ居ル譯デハナイノデアリマシテ、此ノ法律ヲ出サレマスル所ノ、其ノ目的ノ範圍内ニ於テハ、十分救済ガ出來ルヤウニ御案ガ願ヒタイト云フ注文ナリデアリマス、政府當局ニ於キマシテ建テル御承知ノ通り、都市住ンデ参リマシタ者ハ、中ニハ父祖ノ代カラ其處ニ住ミマシテ、サウシテ家ノ業トシテ色々職業ヲシテ居リマシテ、財產ハ外ニナクテモ、其ノ場所、或ハ老舖ト申シマスルカ、其ノ家ノ持ツテ居ル所ノ權利、斯ウ云フモノノ力ニ依ツテ、都市ノ人々ノ生活ガ保タレテ來タト云フコトハ、田舎ト違ヒマシテ、此ノ土地ト建物ガ大ニ役割ヲシテ來タノデアリマス、其ノ住ンデ居ツタ建物ヲ一期ニシテ烏有ニ歸シ、總テノ物ヲ烏有ニ歸シタト云フ此ノ被害ハ、形ニ現ハレマシタ物資上ダケノ被害デナクテ、其ノ奥ニ潜ンデ居ル所ノ無形ノ利益、是ガ恐ラク都市ノ生活ト致シマシテハ、形ニ現ハレタ物資以上ノ大ナル損害ニナツテ居ルノガ、隨分其ノ數ニ於テ多イト思ヒマス、況シテ繁華ナ日抜キノ通りナンカニ家ヲ借リテ居リマシタ者ノ權利ト云フモノハ、御承知ノ通り、是ハ財産的ニ見マシテモ實ニ莫大ナ價値ノアルモノデアリマスガ、サウ云フモノニ於テモ、一朝ニシテ烏有ニ歸シテ無實力ニナツタ爲ニ、折角斯

テ全般ヲ保護スルコト云フヤウナコトハ、司法當局ト致シマシテモ考ヘテ居リマセヌガ、少クモ建テル意欲ガアリ、建テル資金ヲ有スルニ拘ラズ、建テルコトガ出來ヌト云フヤウナ者ガアリマスレバ、ソレヲ救済セネバナラヌト云フノデ、急イデ此ノ法案ヲ出シタ次第デアリマス

○酒井委員 勿論私ハ、此ノ法律ニ依リマシテ全部ノ罹災者ヲ救ヘト云フヤウナ御尋ネラシテ居ル譯デハナイノデアリマシテ、此ノ法律ヲ出サレマスル所ノ、其ノ目的ノ範圍内ニ於テハ、十分救済ガ出來ルヤウニ御案ガ願ヒタイト云フ注文ナリデアリマス、政府當局ニ於キマシテ建テル御承知ノ通り、都市住ンデ参リマシタ者ハ、中ニハ父祖ノ代カラ其處ニ住ミマシテ、サウシテ家ノ業トシテ色々職業ヲシテ居リマシテ、財產ハ外ニナクテモ、其ノ場所、或ハ老舖ト申シマスルカ、其ノ家ノ持ツテ居ル所ノ權利、斯ウ云フモノノ力ニ依ツテ、都市ノ人々ノ生活ガ保タレテ來タト云フコトハ、田舎ト違ヒマシテ、此ノ土地ト建物ガ大ニ役割ヲシテ來タノデアリマス、其ノ住ンデ居ツタ建物ヲ一期ニシテ烏有ニ歸シ、總テノ物ヲ烏有ニ歸シタト云フ此ノ被害ハ、形ニ現ハレマシタ物資上ダケノ被害デナクテ、其ノ奥ニ潜ンデ居ル所ノ無形ノ利益、是ガ恐ラク都市ノ生活ト致シマシテハ、形ニ現ハレタ物資以上ノ大ナル損害ニナツテ居ルノガ、隨分其ノ數ニ於テ多イト思ヒマス、況シテ繁華ナ日抜キノ通りナンカニ家ヲ借リテ居リマシタ者ノ權利ト云フモノハ、御承知ノ通り、是ハ財産的ニ見マシテモ實ニ莫大ナ價値ノアルモノデアリマスガ、サウ云フモノニ於テモ、一朝ニシテ烏有ニ歸シテ無實力ニナツタ爲ニ、折角斯

ウ云フ法律ヲ制定致シマシテ、實施サレマシテモ、指ヲ啞ヘテ見テ居ラナケレバナラヌ、ソレニ對シテ、實力ノナイ者ハ此ノ法律ガ救ツテヤル所ノ對象タル罹災者デヤナイ、實力ノアル者デケ家ヲ造リ、力ノアル者デケ救ツテヤルノダ、斯ウ云フノガ此ノ法律ノ目的ノ範圍ニ含マレル罹災者ダ、ソレガ對象ダト云フコトハ、餘リニ私ハ、此ノ法案ガ持ツ使命ト致シマシテハ情ナイト思フノデアリマス、家ヲ建テル力ノナイ者ニハ、私ハ其ノヤウナ救済方法ガ出來ナイ譯デモナイト思ヒマス、例ハ父祖ノ代カラ何十年モ住ンデ立派ナ老舖、立派ナ無形ノ權利ヲ持ツテ居ツタ人々ニ對シテハ、地主ナリ或ハ借地權者ナリニ買取ノ義務ヲ負ハセルト云フヤウナ方法ヲ設ケルコトハ、絕對ニ必要デヤナイカト考ヘルノデアリマス、是ハ政府當局モ御存ジノ通り、建物ガ滅失シタクテ、罹災シタクテ、建物ガ現存シテ居リマシタ當時ノ都市ノ狀態ヲ考ヘテ見マスルト、此ノ家屋ノ老舖料ト申シマスルカ、サウ云フ無形ノ價值ハ、隨分高價ニ賣サレテ居ル事實ハ、否定ノ出來ナイ事柄デアリマス、恐ラク都市ノ家屋ニ對シテハ、全部ガ大ナリ小ナリノ老舖料ト申シマスルカ、マア權利金ト申シマスルカ、ソナナモノガ附著致シテ居リマシテ、殊ニ日抜ノ通りナンカデハ實ニ莫大ナ一財産デアル、何萬圓、又何十萬ト云フモノガ受授サレテ居ツタコトハ明カナ事實デアリマス、ソレガ一朝ニ致シマシテ、罹災ノ爲メ、家ヲ建テル力ガナイ爲ニ是ガ無ナルト云フコトハ、實ニ忍ビ得ナイ事柄ダト思フノデアリマス、其ノ無形ノ權利、斯ウ云フモ

ノ公平ナ社會的ナ客觀的ナ事情、サウ
云フモノニ依リマシテ評價ヲ致シマシ
テ、之ヲ借地人ナリ、或ハ地主ナリニ
買取りノ義務ヲ負ハセルト云フコト
ハ、是ハ氣ノ毒ナリ救フ途ニモナリ
マスルシ、一方ソレデハ借地人或ハ地
主ニ對シテ酷デハナイカト云フ御考ヘ
ガアルカ分ラヌト思ヒマスガ、私ハ酷
デハナイト思ヒマス、ト申シマスルノ
ハ、ソコニ建物ガ建ツテ居ツタ時代ノ
コトヲ考ヘテ見マス、地主ハ單ニ地
料ヲ借地人カラ得テ居ツタノデアリマ
ス、借地人ハ此處ニ家ヲ建テ、家ヲ貸
シタ家賃ヲ單ニ得テ居ツタノデアアル、
今度はガ空地ニナツテ、サウ云フ土地
ノ上ニアリマシタ建物ニ附隨スル無形
ナ權利、是ハ地主ト雖モ、借地人ト雖
モ只取ル譯ニハ恐ラク行カナイ權利デ
アル、其ノ家ニ附著シ、其ノ家ニ住
ンデ居ツタ者ガ持ツテ居ツタ無形
ノ權利、之ヲ何カノ事情ニ依ツテ、地主ガ
自分ノ方ヘ賣ハフ、自分ノ氣ニ入ツタ
者ニ後ヲ繼ガセヨウト考ヘタト致シマ
シテモ、ヤハリ其ノ權利ヲ買取ツテ、
自分デ使フナリ、次ノ者ニ讓ツテヤル
ナリシナケレバナラナカッタノデアリ
マス、家主ニ致シマシテモ其ノ通りデ
アリマス、單ニ出テ行ケト云フ譯ニハ
行カナカッタノデアリマス、自分ノ家
ニ附イテ居ル權利ナドハ認メナイト云
フ譯ニハ行カナカッタノデアリマシ
テ、ヤハリ其ノ家ヲ自分ガ使ハウトス
レバ、或ル程度ノ權利金、立退キ料ト
云フカ、何ト云フカ知リマセマ、何
レニ致シマシテモサウ云フ無形
ノ權利ヲ買取ツテ、自分デ使用シナケレバ
ナラナカッタト云フコトハ事實デアリ
マス、隨テ此ノ際其ノ家ガナクナレバ、
地主デ言ヘバ、自由ニ他ニ借サウト思

ヘバ、或ル程度ノヤハリ權利金ト申シ
マスルカ、ソナモノヲ取ツテ貸スコ
トガ實際上ニハ出來ルノデアリマス、
法律上ノ技術ト致シマシテ、其ノ額
トカ色々ナコトガ問題ニナルドラウ
シ、ソレガ認メラレカドウカハ別問
題ト致シマシテモ、事實ハ空地ニナツ
テ居ル土地ヲ貸スニハ、都市ニ於テハ
相當ナ權利ト云フモノヲ取ツテ借スト
云フコトニ、恐ラク是ハナルノデアリ
マス、又借地人ニ致シマシテモ其ノ通
リデアリマス、自分デ家ヲ建テ、サ
ウシテ自分ガ此處ニドウシテモ住ム、
住ムコトガ今度ハ出來ルノデアリマ
ス、自分ガ家ヲ建テテ住ムト云フノナ
ラ、當時此處ニ住ンデ居ツタ罹災者モ、
是ニハ敵ハヌト云フコトニ法律上ナル
ト私ハ考ヘルノデアリマス、立派ナ場
所デ、曾テ彼處ニ自分ガ住ミタイナ
ト思ツテ居ツテモ、多額ナ權利金ヲ出
サナケレバ住メナカッタノデアリガ、
今度ハ新タニ家ヲ建テヤウトスル借地
人ニハ幸ヒデアアルカ知レナイガ、兎
ニ角其處ガ空地ニナツタ、立派ナ場所
デアアルカラ、建テテ商賣ヲヤルニシテ
モ何ニシテモ、何シロ莫大ナ利益ガア
ル譯デス、其ノ地主或ハ借地人ニ、此
ノ罹災ノ爲ニ、家ガナクナツタ爲ニ轉
ゲ込ンデ來タ所ノ無形ノ利益、是ハ
權利ガアリナガラ、財產ガナイノデ借
リ得ベキ土地モ借レナイト云フ此ノ罹
災者ニ一ツ與ヘルト云フ、地主ノ側或ハ
借地權者ノ側カラ言ヘバ、買取權ト云
フモノヲ認メルコトハ、必要ジヤナイ
カト、私ハ考ヘルノデアリマス、此ノ
點ニ付テ政府ノ御考ヘヲ御伺ヒシタイ
ト思ヒマス

家ニ附イテ居ルト云フカ、其ノ場所ニ附
イテ居ルト云フカ、其ノ暖簾附イテ居
ルト云フカ、何レニ致シマシテモ無形
ノ財產ノアルコトハ、私ノ方デモ認メル
ノデアリマス、此ノ無形ノ財產ガアリ
マス以上ハ、ソレノ買取り請求權ガア
ツテ然ルベキダト云フ御意見、洵ニ御
尤モデアリマス、所ガ實際カラ申シマ
スト、其ノ場所、家屋、暖簾ニ權利ガ
アリマシテモ、是ハ其ノ場所、家屋、
暖簾ガアルカラ値打ガアルノデアリマ
ス、ソコデ、例ヘバ黒燒屋ガアル所ニ
事務所ヲ作ツテモ、前ノ老舗ノ權利ト
云フモノハ認メルコトガ出來ナイ、其
處ニ同ジ商賣ヲヤルト云フコトニ於
テ、其ノ權利ガ認メラレルト云フモノ
ノデアリマス、地主ガ之ヲ買取ツテ同
様ノ仕事ヲスルト云フノナラ、其ノ暖
簾ヲ持ツテ居タルヲ救済スルト共ニ、地
主モ餘リ損害ハアリマスマイ、所ガ地
主ガ地主タルノ故ヲ以ツテ、地主モ
戰災ニ依ツテ相當ノ被害ヲ受ケテ居
ル、然ルニ地主タルノ故ヲ以テ全ク商
賣ヲ異ニシ、仕事ヲ異ニシテ居ルニ拘
ラズ、其ノ暖簾ヲ買ハナケレバナラヌ
ト云フコトニナルト、一方ハ救済出來
ルガ、一方ニ於テ又新タナ被害者ガ出
テ參ルト云フコトニナル、ソコデ左様
ナ老舗ハ、自ラ其ノ場所ヲ占領シ、自
ラ左様ナ所ニ家屋ヲ建テテ營業ヲシテ
行ク方ガ却テ宜イノデハナイカト思
フ、資力ガナイ、成程資力ガナケレバ
其處ニ家ヲ建テラレナイコトハ當然デ
アリマスガ、同様ノ仕事ヲサセルト云
フコトデ金主ヲ見付ケ、若クハ同様ノ
開業ヲサセルト云フコトデ其ノ場所ヲ
占領サセル、是ハ必ズシモ不可能デハ
ナカラウト存ジマス、サウスレバ強ヒ
テ地主ニ買取ヲサセナクテモ、ヤリ得

ルト云フ見込ガ立チマスノデ、却テ借
地權ヲ確保致シ、其ノ場所ヲ占領シ得
ラレルト云フ權利ヲ確保シテ置イタ方
ガ宜イノデハナイカト存ジマスノデ、
其ノ權利ヲ買取ラセルト云フダケノコ
トハ、マダ政府トシテ考ヘテ居リマ
セヌ

○酒井委員 是ハモウ御問答ニナリマ
スルノデ、御答辯ヲ要求致シマセマ、
私ハ別ニ住ンデ居ツタ個人ニ附著スル
ヤウナ、家ニ附著スルヤウナ特殊
ノ價值、暖簾金ト云フモノヲ主トシテ申
上ゲタ譯デヤナイノデアリマス、客觀
的ナル價值、一般的ナル價值、主トシ
テ土地ノ位置、土地の價值ト云フモノ
ハ、是ハ客觀的、一般的ナル價值ダト
思ヒマス、又其ノ價值ヲ持ツ其ノ量ハ
相當ナルモノガ都市ニ於テハアルト
思ツテ質問シタ譯デアリマス、其ノ一
般的ナル價值ニ、幾分ノ今ノ特殊
ノ暖簾金ト云フヤウナ、個人或ハ其ノ家
ノ傳統ト申シマスルカ、營業ト申シマ
スルカ、サウ云フヤウナモノニ附著シ
タ價值モ考慮ニ入レル、價值ノ分
中ニ加ヘルト云フコトハ或ル程度必要
ダト思ヒマスルガ、主トシテ私ガ質問
致シマシタ趣旨ハ、客觀的ナル土地
場所のナル價值ニ對スル救済ヘドウカト
云フ積リデ、御答辯シタノデアリマス、
此ノ點ハ此ノ程度ニ致シマシテ、此
際大藏省關係ノコトヲ伺ヒタイト思
ヒマスガ、オ見エニナラナイサウデア
リマスカラ後ニ致シマス、是ハ後カラ
復興ノ係リ、復興院ト申シマスカ、
ソナラノ係リノ御方ニモ御尋ネシ
イト思ヒマスルガ、司法當局ニモ御
尋ネヲ致シタイノデアリマス、ソレ
ヲ何カト申シマスルト、都市ヘノ轉
入ノ制限、之ニ對シテ法律ヲ作ラレ

ル上ニ於テハ、當然ソナラノ方ノ係リ
ト十分御協議ヲ戴キマシテ、サウシテ
此ノ法律ノ實質ヲ成ルベク多分ニ實現
スル、形式ノ上カラモ何モ交渉スル必
要ハナイデアリマセマ、實質的ニ此
ノ法律ガ保護スル所ノ人々ニ、其ノ效
果ヲ與ヘル爲ニ、復興院ノドノ係リ
ナリマスカ知ラヌガ、其ノ方面ト十分
協議シテ戴キマシテ、一般的ニ都市ヘ轉
入ガ許サレヌ場合ニ於テモ、特ニ此ノ
罹災者デアルト云フ條件、其ノ他ノ條
件ガ加ハルコトモ必要ダト思ヒマス
ガ、何レニ致シマシテモ、此ノ罹災者
デアアル所ノ人々、而モ此ノ法律ニ依
テ保護サレル適格者デアアル人ハ、一ツ
優先的ニ何カ都市ニ入レテヤル、一般
ガ許サレヌデモ入レテヤルト云フ御交
渉ヲ、眞劍ニ一ツヤツテ戴キタイ、是
ガ何カ具體的ナ結果ヲ見ルヤウナ御運
ビニ願フコトガ出來ナイカドウカト云
フコトヲ御伺ヒ致シマス

○古島政府委員 酒井サンノ御質問ハ
洵ニ一々御同感ノ意ヲ表スル外ハナイ
ノデアリマス、此ノ轉入問題等ニ付キ
マシテモ、勿論是ハ都市計畫ノ大問題
デアリマシテ、今後ハ都市ハ立體的ニ致
スベキカ、平面ニ擴ガリツ放シテ置ク
ベキカ、又人口ヲ五百萬、三百萬ト云
フコトニ減ジタ程度ニ置クベキモノ
カ、何程膨脹シテモ構ハズニ放任スベ
キカト云フヤウナ問題ハ、都市計畫上
重大ナ問題デアリマス、ソコデ今日都
市ニ轉入スルコトヲ禁止スルコト云フヤ
ウナコトハ、如何ナル意味ニ於テ出
居ルカト云ヘバ、私ガ申上ゲルマデモ
ナク、都市ニ於ケル食糧問題等モア
リ、サウシテ餘リ膨脹スルト云フコト
ハ、治安ノ問題カラ考ヘテモ、膨脹シ
タ儘デ放任スベキモノデナイト云フ公

法的ノ問題モ考慮ニ入レテアルノデア
リマス、左様ナコトハ今日カテ豫想セ
ネバナラヌデアリマス、ソコデ司法
當局トシテ考ヘネバナラヌコトハ、若
シ左様ナ制限ヲサレタカラ、制限範圍
内ニ於テ轉入スル者ハ少ナカラウ、ソ
コデ居住ノ問題等モソレ程心配スルニ
足ラヌデアラウト云ツタヤウナ考ヘデ居
リマス、大變ナ間運ヒデアリマスノ
デ、若シ轉入ガ自由ニ許サレテモ、尙
ホ彈力性ノアル法律ヲ拵ヘテ置カネバ
ナラヌ、制限サレテモ尙ホソレニ間ニ
合フヤウナ法律ヲ拵ヘネバナラヌト云
フノガ、司法當局ノ建前デアリマス、
ソコデ此ノ法律ノ心持モ、ソレ等ノコ
トヲ織込シテ立案デアリマス、第一
一ノ老舗ノ問題等、之ヲ考慮ニ入レナ
カッタコト云フト、入レテハ居ルノデ
アリマスガ、實際ハ此ノ法律ニ織込ム
コトガ出来ナカッタコト云フコトニ相成
ルノデアリマス、恐ラク其ノ他ノ何等
カノ名ニ於テノ立法ヲ拵ヘ、或ハ戰災
者救護法ト云フヤウナモノデモ何カ拵
ヘルト云フコトニナラバ、其ノ時
ニハ酒井サシノ御希望等モ十分採入レ
テ立案致シタイト考ヘテ居リマス、尙
ホ只今ノ轉入問題等ハ、左様ナ事情カ
ラ參ッテ居ルノデアリマスカラ、茲ニ
法律ヲ拵ヘルト云フ時ニハ、轉入サレ
テ尙ホ住ム場所モナク云フコトヲ豫
想致シマシテ、サウ云フ場合ニハ十分
ニ是ガ建テ得ラレル途ヲ拵ヘルト云フ
コトガ、先ヅ政府當局トスレバ導ク途
ダト云フコトヲ考ヘマシテ、此ノ立法
ガ出来タ譯デアリマス、ドウカ左様ナ
意味ニ御諒承願ヒタイト思ヒマス

ツテ居リマスノデ、到底私ノ満足ノ行
クヤウナ御答辯ハ得ラレナイト思ヒマ
スケレドモ、ドウカ此ノ法律ガ出来マ
スル以上、此ノ法律ノ可能範圍ニ於
テ、十分救済ノ手ヲ伸バスト云フ方向
ニ働イテ戴キタイト私ハ考ヘルノデア
リマシテ、頭カラ都市ヘ入レタ者、都
市ヘ轉入ノ出来タ者、サウシテ家ヲ建
テル力ノアル者ト云フモノニ對シテ、
是ガ適用サレルノダト云フ御考ヘ方
ハ、此ノ法律運営ニ付テデモ、是ハ狹
過ギルト私ハ思フノデアリマス、此ノ
法律運用ニ當リマシテモ、別ニ此ノ法
律ノ目的ヲ逸脱セズニ、今ノ力ノアル
者、入レタ者ダケ救済スルト云フコト
デナシニ、ソレ等ノ條件ニ適ハナイ
人、權利ノ實質ハ持チナガラ、資力ガ
ナイイメ、或ハ都市轉入制限ノ爲ニ條
件ニ適ハナイ者モ、與フ限リ此ノ法
律デ救済スルト云フ御立場、一ツ法
律ノ御實施ヲ願ヒタイト、斯ウ思フノ
表態ガ示スガ如ク、成立スレバ臨時處
理法トナラヌデアリマス、臨時處理法
案デアリマス、此ノ終戦後ノ亂レタル
土地ノ狀態、或ハ家屋ノ狀態、サウ云
フモノカラ生活ガ格ヤカサレタ來テ居
ル、サウ云フ狀態ヲ處理シ、整理シ、
救済スルト云フ所ノ、是ハ臨時のナ法
律ダト私ハ思フノデアリマス、ダカラ
コソ、都市計畫ノ方面デ言ヒマスレ
バ、都市計畫ガ十分ニ成立ツニハ、當
局ノ説明ニ依レバ、ソレハ五、六年先
ダ、ソレモ都市計畫ガ出来テ、建物モ
出来テ、完成ノ意味デヤナイサウデア
リマス、計畫ヲ立テダケニ、全國的
ニ見ルト五、六年先ニナルト云フ話デ
アリマス、ダカラ元來言ヘバ、是ガ永久
的ナル法律ナラバ、其ノ都市計畫ト歩

調ヲ合セテ進ムベキ法律ダト思フノデア
リマスガ、是ハ永久のナ借地借家關係
ヲ定メルモノデハナイノデアリマスカ
ラ、都市計畫ガ假令五、六年先ニ延ビ
マシテモ、純然タル都市計畫ニ基イテ
借地借家關係ヲ救フ策カウト云フ法
狙ヒデヤナイト思ヒマス、サウシテミ
ルト、是ハ何處マデモ一時的ナ處理デ
アリマス、一時的ト申シマシテモ、其
ノ一時のガ將來ニ向ツテ、事實上、又
實際生活ノ面、實際具體の方面ニハ、
其ノ生活、其ノ建物、其ノ土地關係ト
云フモノノ權利義務ノ關係ガ、永續シ
テ行クノカモ知レマセヌガ、今此處デ
此ノ法律ニ依ツテ定メヨウトスル權
ヲ定メヨウトシテ居ルモノダト私ハ解
釋致シマス、ダカラコソ、今ノ都市計
畫ナシノ部面ハ五、六年先ニ計畫
ガ樹ツノダト云フコトデモ、此ノ法律
ノ意義ガアル譯デス、是ガ永久のナ
ラ、ソレト鼓行シテ打立テラレタ計畫
ノ下ニ行ク法律デナケレバ意義ヲ成サ
ヌト思フノデスガ、一時的ダト云フ所
ニ意義ガアル譯デスカツ、一時的處方
デアラナラバ、今ノ都市計畫ノ線ニ完
全ニ沿ハナケレバナラヌ、或ハ十分沿
ハナケレバナラヌト云フコトハ、是ハ
モウ前提トシテ、此ノ法律ハ豫測ヲシ
テナイノダト思フノデアリマス、ダカ
ラ勿論現在ノ狀態ニ於キマシテ、明カ
ニ將來ノ都市計畫ニ反スルト云フガ如
キ、サウ云フ内容ノ救済ヲ此ノ法律カ
ラ望ムト私ハ思ヒマセヌ、明カニ將
來ノ都市計畫ニ反スルト云フコトガ、
現在ノ狀態ニ於テ明瞭デアルト云フ、
其ノコトニ對シテハ、何等要求シナイ
ノデアリマスガ、都市計畫ト云フモノ
ノハ五、六年先ニ成立ツモノダ、此ノ救

濟ハ目前ニ迫ツタ救済ダ、デアルカラ
明カニ都市計畫ト矛盾スルト云フコト
ガナイ限リハ、ドウシテモ都市計畫ト
云フコトハ直接の二頭ニ置カズニ、臨
時的ナ處理デアル此ノ法律ヲ、一パイ
ニ働カシシテ戴キタイト云フノガ私ノ
希望デアリマス、而シテ是ガ、此ノ
法律ノ持つ所ノ本當ノ使命デアラウト
私ハ思フノデアリマス、サウ致シマシ
タナラバ、此ノ法案ノ立法趣旨ヲ逸脱
シナイ限リニ於テ、出来ルダケ廣ク權
災者ヲ救済スルト云フ方途ニ向ツテ、
當局ハ御進メヲ願ヒタイノデアリマ
ス、頭カラ力ノアル者、都市ヘ入レタ者
ノミヲ救済スルト云フコトハ、根
本的ニ考ヘ方ガ、私ガ間違ツテ居ル
ノカ、當局ノ方ガ狭ク解サレルノカ知
リマセヌガ、私ハ間違ツテ居ルト思フ
ノデアリマス、其ノ根本ノ當局ノ御考
ヘ、飽クマデ今ノ條件ハ甘シク受ケ
テ、今ノ都市轉入ノ問題モ向フ様ニセ
シナイ、許サレタ場合ニハ、其ノ者
ハ此ノ法律ニ依ツテ保護サレルト云
フ……

○本田委員長 酒井君、御發言中デス
ガ、厚生省ノ御方ガ來ラレマシタカ
ラ……
○酒井委員 分リマシタ——サウ云フ
消極的ナ御考ヘカ、此ノ法律ヲ活用ス
ル爲ニ、實際生活上キテ使フ爲ニ必要ダ
カラ、其ノ必要ノ範圍ニ於テハ、他ヘ
向ツテモ積極的ニ働キ掛ケル御考ヘ
カ、モウ一度責任アル御答辯ヲ願ヒタ
イト思ヒマス
○古島政府委員 酒井君モデアリマ
ス、唯此ノ法律ヲ拵ヘマシテ、積極的
ニ轉入ノ勸奨スルカドウカト云フコト
ニナリマスルト、別ニ勸奨スルコトハ
出来マセヌ、併シナガラ、都市計畫上
何等カノ障礙ニナル分ハ、是ハ勿論此
ノ障礙ニナル分ダケハヤラヌト云フコ
トハ當然ノコトデアリマシテ、御説ノ
通りデアリマス、併シ復興局其ノ他ノ
都市計畫ノ方面ト何等ノ交渉ナク、全
クノ無關係デ立案ガ出来テ居ルカト云
フト、決シテサウデハアリマセヌ、都
市計畫ノ大方針ト致セバ、實際ノ都民
ノ生活上モ、餘リ小サナ借地ト云フモノ
ハ、又餘リ小サナ借地ト云フモノハ、
今後許サヌト云フヤウナコトニスルト
云フ希望モアリマスノデ、然ラバト云
フノデ、コチカラ又借地權ノ分割ノ
問題等ニ付テモ、或ハ分合スルニ致シ
マシテモ、其ノ點ヲ考慮致シテ分合ス
ルト云フコトニ相成ツテ居リマス、餘
リ小サナ分ハ取上ゲテ、寧ろ適當ナ
坪數ニシナケレバナラズト云フコト
ハ、今後ノ都市計畫上當然必要ガ起ツ
テ來ルノデアリマスカラ、法律デモ其
ノ點ハ考慮ニ入レマシテ立案シタル
ノデアリマス、今後之ヲ積極的ニ申
シマスガ、法律ノ建前上、積極的ニコ
チカラドウスルト云フ問題ハ起ツテ
參ラヌ法律デアリマス、併シナガラ、
實施ニ當ツテハ、勿論酒井君サシノ御意
見等ハ之ヲ考慮ニ入レマシテ、此ノ法
律運用ニ付テハ、十分考ヘテ實行サセ
ルヤウナコトニ致シタイト存ジマス、
左様御諒承願ヒマス
○酒井委員 建前ガ違ヒマスノデ、此
ノ點ハ先程申シマシタヤウニ、私ノ質
問ニ對シテ、私ノ氣持ニ副フヤウナ御
答辯ハ願ヘマセヌ、併シ是モ已ムヲ得
マセヌガ、實施ニ當ツテ御考慮ヘル
ト云フコトヲ承リマシタ、是非トモ其
ノ方面ノ御考慮ヲ十分御願ヒシタイト
思ヒマス

社會局保護課長サンガオイデニナリ
マシタカラ、一寸御伺ヒ致シマス、司
法當局ニ御尋ね致シマシタコト大體
同ジヤウナ内容デアリマスガ、此ノ法
案ハ形式ノ上カラ見マス、一應罹災
當時ノ借家人ト云フヤウナ者ヲ救済ス
ル組織ハ出來上ツテ居リマスガ、實質
的ニ見マス、御存ジノ通り、此ノ法
律ガ施行サレマス時カラ一年以内ニ、
自分ノ權利ヲ是等ノ人々ハ主張シナケ
レバナラヌ、假ニ權利ヲ主張シテ、罹
災者ガ土地ヲ借りルコトが出来タト致
シマシテモ、今ノ都市轉入ノ制限ガア
リマスノデ、其ノ制限ニ引掛ツテ都市
ヘ入レナイ場合、是ハサウ云フ人ニ取
ツテハ空文ニ歸スルコト云フコトニナリ
マスシ、假ニ都市ヘ入レタト致シマシ
テモ、罹災者ノ實情ヲ見マスノニ、當
局デモ御存ジノ通り、家財道具等凡
ル物ヲ焼カレテ、罹災シタ者ハ恐ラク
裸一貫ニナツタ者ガ多ク、デアリマ
ス、多少荷物ノ疎開デモシテ置イタ者
ハ別デアリマスガ、疎開スル場所モ中
中アルモノデハナイ、ダカラ實際ト致
シマシテハ、アノ空襲當時ノコトヲ思
ヒ浮ベテ載ケバ分ルデアリマスガ、
何一ツ持出スト云フコトハ不可能デア
リマシタ、罹災シタ者ハ眞裸デアリマ
ス、サウ云フ者ハ一體土地ヲ借りル所
ノ契約ハ出來テモ、家ヲ建テルコトハ
實際出來ナイデアリマス、偶々金ノ
アル人ガアルカモ分ラナイガ、マアソ
レハ少イト思ヒマス、金ノアル人ガア
ツテモ、一萬圓程度デ建テナケレバ、
ソレ以上引出スコトが出来ナイ、封鎖
ニナツテシマツテ居ル、サウ云フ金ヲ
持ツテ居ル人ハ、此ノ罹災者ノ多數ノ
中カラ云ヘバ非常ニ數ガ少イ、裸一貫
ガ多イ、サウ云フ者ガ優先ノ土地ヲ

借りマシタ所ガ、家ヲ建テルコトが出来
ナイ、家ヲ建テルコトが出来ナケレ
バ、借りテカラ半年以内ニ之ニ著手シ
ナケレバ、此ノ折角ノ權利モ解消サレ
テシマフコト云フコトニナル、之ニ對ス
ル救済方法——形デケ此ノ法律ガ通り
マシテモ、何等カ之ニ對シテ救済ノ手ヲ
伸ベナケレバ、此ノ法律ノ實質的ナ効
果ヲ擧ゲルコトハ殆ド不可能ニナツ
テ、八割、九割ノ者ハ立派ナ資ヲ見
ナガラ、實ノ持戻レト申シマスカ、何
等效用ヲナサナイデアリマス、ソコ
ニ於テ、サウ云フ人々ニ對シマシテ
一ツ司法當局ト協力シテ戴イテ、此ノ
法律ニ依ツテ救済サルベキ適格者タル
罹災者、サウ云フ人々ニ對シテハ、何
等カ都市轉入ノ制限ニ付テ、茲ニ特別
ナル手段ヲ執ツテヤルコトハ出來ナイ
カト云フコトヲ御尋ネラシタイノデア
リマス

尙ホ一ツハ、事實長年ノ間都市ニ住
ミマシテ、其ノ建物ニ住ンダ故ニ營業
モ出來、其ノ土地ニ住ンダ故ニ商賣モ
繁昌シタ、其ノ土地ノ價值、建物の價
値、サウ云フ無形ノ權利ヲ、是等ノ
借家人ハ有形ナルモノヲ失フト共ニ失
ツテシマツタ、サウ云フ氣ノ毒ナ者ニ
對シテ、是ハ社會局ノ關係デヤナイカ
モ分リマセヌガ、何等カ社會的手段ヲ
以テ家ヲ建テル爲ニ應援デモシテヤ
ル——何等カ資材ノ關係、或ハ金銭的
關係ト云フヤウナ方面デ、應援デモシ
タルト云フ方法ハ執レナイモノカドウ
カト云フ、二ツノ點ニ付テ御伺ヒ致シ
マス

○加藤(清)政府委員 只今私ノ名前ヲ
御指名ノ上デノ御質問ノヤウニ承リマ
シタ、内容ト致シマシテハ、第一ハ都
市轉入ノ緩和ヲ圖ツテハドウカト云フ
コト、第二番目ハ建築資金ノ貸付ヲヤ
ルトカ、或ハ又資材ノ融通等ヲヤツ
テ、本當ニ建物ヲ建テルコトが出来ル
ヤウニシテヤッタラドウカト云フコト
ト、第三ニハ、今マデノ色々ナ權利ヲ
活カシテ使ツテ行ケルヤウナ風ニ、保
護ノ點ヲ考ヘテヤツタラドウカト云フ
三點ノヤウニ承ツタデアリマスガ、
甚ダ申上ガ策ナルデアリマス、コレド
モ、三點トモ私ノ關係外ノコトデゴザ
イマスノデ、他ノ政府委員ノ方カラ御
答辯ヲ願フタ方ガ適當デアルト思ヒマ
ス、何卒惡シカラズ御諒承願ヒタイト
思ヒマス

○大橋政府委員 復興院ト致シマシテ
ハ、罹災者ノ一般生活ノ安定ト云フコ
トヲ官制ニ規定致シテゴザイマス、左
様ナ觀點カラ、一般罹災者ノ生活安定
ニ關シマシテハ、一般的ノ注意ヲ致シ
テ居リマス、勿論是等ノ實際ノ施設ニ
付キマシテハ、復興院ニ於テ擔當スベ
キ部面モアリマス、又厚生省、内
務省、其ノ他ノ部面ニ於テ擔當スルコ
トニナツテ居ル部面モゴザイマス、都
市ノ轉入制限ノ問題ニ付キマシテハ、
制限ノ實際ノ取扱ヒハ内務省ノ所管ト
相成ツテ居ルノデゴザイマス、建築ノ
資金ノ貸付又ハ資材ノ融通、是等ノ事
項ニ付キマシテハ、復興院ノ最も密接
ナ關係ヲ持ツタ仕事デゴザイマス、
デ、此ノ問題ニ付キマシテハ、復興院
ト致シマシテ十分ノ留意ヲ致シテ居リ
マス、先ツ資金ノ問題デゴザイマス
ガ、資金ニ付キマシテハ、只今ノ所目
己資金ノ封鎖ヲ行ハレテ居ル實情デ
ゴザイマスノデ、建築資金ノ貸付ニ付
テ積極的ニ動クト云フ時期デハナイヤ
ウニ考ヘラレマス、隨ヒマシテ復興院
ト致シマシテハ、建築ニ關スルモノト
致シマシテハ、建築ノ資力ノ乏シイ人
達ニ對シマシテハ、公共團體又ハ住宅
營團ニ於テ建築ヲサセルコトニ致シマ
シテ、之ニ對シテ政府カラ相當ノ補助
ヲシテ行ク、所謂公營住宅ヲ促進スル
ト云フ方法ニ依ツテ、最も困ツタ人達
ニ住宅ヲ提供スルコト云フ面ヲ考ヘテ居
リマス、併シナガラ今後情勢ノ推移ニ
依リマシテ、昨日本委員會ニ於テ申上
ゲマシタ通り、公共團體ノ補助等ニ依
リ、所謂公共的ナル建物デケ、此ノ
住宅難ヲ緩和スルコト云フコトハ到底困
難デゴザイマスノデ、今後ニ於テハ、
益々國民一般ノ自力ニ依ル建築ト云フ
コトニ力ヲ入レナケレバ相成リマセヌ
ノデ、隨ヒマシテ今後建築資金ノ貸付
等ニ付キマシテモ、十分實情ヲ調査致
シマシテ、適切ナル措置ヲ講ジタイト
考ヘル次第デゴザイマス、尙ホ資材ノ
點ニ付キマシテハ、昨年終戦以來厚生
省ニ於キマシテ、當時ノ最も窮乏シタ
ル建築ノ資材ノ實情ニ鑑ミマシテ、所
謂簡易住宅ノ資材ト云フモノヲ斡旋ヲ致
シマシタ、是ハ公共團體又ハ住宅營團ヲ
通ジマシテ、資材ヲ一般ニ賣渡スト云フ
方法ヲ執ツテ居ルコトデゴザイマスガ、
此ノ方法ハ、其ノ當時目論マレマシタル
建物ノ設計ガ、一般ニ喜バレマセヌデ
シタ爲ニ、只今デハ此ノ資材ノ賣渡シ
ト申シマスガ、所謂出來上ツタ家ヲ組
立テル爲ノ一組ノ資材、サウ云フモノ
ノ賣渡シハ止メテ居リマス、併シナガ
ラ建築一般ノ資材ノ融通ニ付キマシテ
ハ、物動其ノ他ノ面ニ於キマシテ許シ
得ル限り、出來ルダケ努力ヲ拂ツテ居
ルヤウナ次第デゴザイマス

○酒井委員 是モ復興院ノ方ノ御關係
カ、社會局ノ方カ分リマセヌガ、序デ
デアリマスカラ御質問申上ゲマスガ、
今都市ニ於キマシテハ——私ハ東京ノ
コトハ餘リ詳シク分リマセヌ、私ハ名
古屋デアリマシテ、罹災者ノ一人デア
リマスガ、個人的ニ造リマス小サナ家
屋ハボツ／＼出來始マツテ居リマス
ガ、國或ハ公共團體デヤラナケレバナ
ラヌ所ノ衛生ノ設備、或ハ公共的ナ
設備ガ、非常ニ抛リ放シサレテ居ル
傾向ガアルノデアリマス、例ヘバ汚
汚ト出來テ居リマセヌ、考ヘ様ニ依
レバ街中使所デアルト云フヤウナ考ヘ方
カモ分リマセヌガ、非常ニ不潔デアリ
マス、近頃サウ云フ不潔ナ行爲ヲシタ
者ハ處罰スルコト云フコトヲ、名古屋
タリデハ當局ハ發表致シマシタコレド
モ、併シ設備ガナケレバ是ハドウモ無
理ナ話デヤナイカト思フノデアリマス
シ、ソレト共ニ非常ニ暗ガリノ場所ガ
多イノデアリマス、家ノナリヤウナ所
ハ殆ド眞ッ暗ノ儘放置サレテ居ル、是
カ爲ニ夜ハ一寸出歩ケナイ、内務省方
面ノ關係、詰リ刑事上ノ犯罪ナドト云
フコトモ、斯ウ云フコトカラ隨分行ハ
レテ、治安ハ是ガ爲ニ餘程脅カサレテ
居リマス、一ツ其ノ由ヤシイ問題ハ、
其ノ爲ニ風紀ヲ非常ニ紊ス者ガ多イノ
デアリマス、是ハ恐ラク何處ノ都市ヘ
行ツテモサウダト思ヒマスガ、實ニ風
紀ヲ紊ス行爲、合意的ナ行爲モアレ
バ、犯罪的ナ風紀ヲ紊ス行爲モ澤山行
ハレテ居ル、ダカラ今ノ電燈ノ設備、
或ハ便所ナドノ設備、或ハ下水ノ設
備、是ハ都市計畫ナドト直接の關係
ガアル問題デアリマス、五、六年
先ニ其ノ計畫ガ成立タウト云フ、其ノ
都市計畫ヲ當局ハ待ツテ居ラレノカ
ドウカ、是ハサウ云フモノヲ待ツベキ
問題デハナイ、人間ニ最も直接的ニ、

最モ速カニ要求サレノハ、詰リ明ルイ場所ト清潔ナ場所ト云フコトデアラウト思ヒマス、サウ云フ點ニ付キマシテ、此ノ衛生ノ施設、或ハ下水施設、或ハ點燈ノ設備ト云フヤウナモノヲ、斯ウ云フ災害都市ニ至急ニ、一齊ニ行ハレバヤウナ御意思ガアルカドウカト云フコトヲ、關係當局ニ御伺ヒシタイト思ヒマス

○大橋政府委員 只今ノ御尋ネハ洵ニ御尤モナ點デゴザイマス、當局ト致シマシテハ、共同便所デアルトカ、或ハ下水道、衛生設備ノ復舊ニハ日夜努力ヲ致シテ居ルヤウナ次第デアリマス、又街路ノ照明ニ付キマシテモ同様デゴザイマス、是等ノ事項ハ、何レモ各罹災地ニ於キマシテハ極メテ喫緊ノ要務デゴザイマスノデ、一般ノ都市計畫ガ決マツテカラ、緩ル／＼トヤツテ行クト云フヤウナ考ヘハ全然持ツテ居リマセヌ、是ハ應急的ニ、或ベク速カニ復舊ヲシテ行クト云フ方針デゴザイマス、現ニ下水道ニ付キマシテハ、終戦直後カラ全國的ニ急々要スルモノカラ復舊工事ヲ致シテ居リマスシ、引續キ現在モ、各地共取急イデ行ツテ居ルヤウナ次第デゴザイマス、唯下水道ニ付キマシテハ、何レモ是等ニ對シテ政府デ三分ノ補助ヲヤルト云フコトニナツテ、現ニ實行中デアリマスガ、公共設備ノ共同便所、或ハ街路照明等ニ付キマシテハ、政府ノ方デ只今ノ所補助ヲ考ヘテ居リマセヌ、隨ヒマシテハハ地方ノ自治體、又ハ關係ノ電氣業者等ニ於キマシテ、自發的ニ復舊ヲ急イデ實行シテ居ルヤウナ次第デゴザイマス、是レ亦資金及ビ資材ノ面カラ急速ニ進バナイハ、私共極メテ遺憾ニ思ツテ居ルノデゴザイマスガ、今後共出來ルルケ努力致シマシテ、御趣旨ニ副

フヤウニ努メタイト思ツテ居リマス
○酒井委員 時間ガ迫ツテ參リマシタカラ、アト簡單ニ御尋ネラジタイト思ヒマス、今罹災都市ニ於ケル土地關係、或ハ建物關係ノ法律關係ニ於キマシテ、一番困ツテ居リマスノハ、ドサクサニ紛レテ無權限デ空地ヘ家ヲ建デテシマフ、燒跡ヘ家ヲ建デテシマフ、請求シマフウガドウシヤウガ動カナイ者ガ、名古屋アタリデハ相當アルノデアリマス、尙ホ一般大衆モ、ドウモ近頃ハ個人ノ權利ハ餘リ主張出來ナクナツテ居ル、而モ斯ウ云フ罹災都市デ、家ヲ建デラレテモ仕方ガナイト云フヤウニ、誤解ヲシテ居ル向ガ餘程多イノデアリマス、是ハ司法當局アタリノ御専門ノ方カラ見レバ、ソシナ馬鹿ナコトハアルカト云フ御考ヘカモ知レマセヌガ、大衆ト云フモノハ、斯ウ云フ法律關係ナント云フモノニ付テハ、洵ニ愚ナルモノデ、無權限デ家ヲ建テラレマシテハ、已ムヲ得ヌト云フコトデ、一應ニ應催告ハ致シマスガ、頭張ラレテ其ノ儘ニナツテ居ル、是ガ爲ニ、後ニ新シイ適正ナル法律關係ヲコ、ニ築クコトガ出來ナイデ困ツテ居ル、或ハ自分ガ使用シタイト思ツテモ、使用出來ナイデ困ツテ居ルト云フ狀況ガ相當アルノデアリマス、此ノ處理ハ一體自然ニ任セルカドウカ、唯今マデノ民事裁判ニ任シテ置クカドウカ、民事裁判ニ任カシテ置イタノデハ、當局ニハ、御専門ノ御方ガ多イノデアリマスガ、中申スウ云フ無權限デ一旦家ヲ造ツタリ、家ニ住ンダリ致シマスモ、立退キナラン云フ事件ハ、私共モ何時モ手コズルノデアリマスガ、容易デモサレ、無茶苦ニ一年掛カル、控訴デモサレ、無茶苦茶ニ上告デモサレト云フコトニナルト困ル、數年掛リノ問題ニナツテシマ

ツテ、調停ナドデモ、良心ノナイ者ニハアノ調停ナドト云フモノハ役ニ立チマセヌ、ダカラサウ云フ者ヲ救フニハ、成程形式上ハ法律ハ完備シテ居ルノデアリマス、民事訴訟行ケルノデアリマスガ、ソレデハ間ニ合ハナイノデアリマス、斯ウ云フ土地ノ正シイ權利關係ヲ取戻ス云フコトハ、罹災者ヲ救フ上ニ於テモ、此ノ法案其ノモノ凡ニ年限ノ關係カラ言ヒマシテモ、ソシナ吞氣ヲ訴テ考ヘテ居ルト云フヤウナコトハ、間ニ合ハナイト思フノデアリマス、此ノドサクサ紛レニ、無權限デ横暴ニ人ノ權利ヲ侵害シテ居ルト云フモノニ對スル、何等カ救済方法、整理方法ト云フモノヲ御考ヘニナル餘地ハナイカドウカ、民法或ハ訴訟法ノ定ムル、從來ノ手續ニ任シテ置ク御考ヘカドウカト云フコトヲ、一寸承リタイト思ヒマス

○古島政府委員 御質問ノヤウナコトハ、丁度大正十二年ノ震災後ニモ甚ダ多カッタノデアリマス、震災當時ニ於ケル建物ノ大部分ト云フモノハ、全ク權利ナクシテ勝手ニ建テタモノガ多カッタノデアリマス、其ノ點ナドヲ考ヘマシテ、今回ハ此ノ法律ヲ推ヘタノデアリマスガ、勿論無權限デ建テタ其ノ人ニ向ツテ、早急ニ之ヲ取拂ヘト云フコトハ、如何ナル法律ヲ推ヘマシテモ、法律手續デ中々容易ニ出來マセヌノデ、本法案ハ全然ソレヲ否認シテ居リマス、左様ナ場合ニ於テハ何等ノ保護ヲシナイト云フコトニナツテ、是ハ認メナイコトニナツテ居リマス、其ノ他ノ自己ノ權利ヲ主張シテ、或ハ所有權ヲ主張スルナリ、或ハ土地ノ借地權ヲ主張スルナリ、相當許サレタル手續ヲ取ルヨリ外ハ、今日ノ所途ガナイト借シマスルガ、又能ク協

設ノ通りデアリマス、何等カ方法ヲ考ヘネバナラヌノデアリマスルガ、我々ト致シマシテ一應之ヲ考慮致シテ見レバ、若シ刑罰法規ヲ設ケテ其ノ主人公ヲ處罰致シマシテモ、家族ガ居住シテ居ル以上ハ、其ノ家族ニ向ツテハ、同じク訴訟手續ナリ、調停手續明渡シテ請求シテデナクンバ、家屋ノ取毀シガ出來ナイ、斯ウナルト思ヒマス、サウ致シマスルト、不法ニ占據シテ、不法ニ家屋ヲ推ヘタ其ノ居住者全體ヲ處罰スルト云フコトニデモ致サネバ、酒開サンノ御希望ハ十分達スル譯ニハ參ラヌコト信ズルノデアリマス、併シナガラ威嚇的ニ其ノ主人ヲ處罰致シテ云フコトモ考ヘラレマスガ、是ハ容易ク出來マセヌコトデ、又何等カ此ノ點ニ向ツテモ、同じク不法占據者ニ對スル制裁ノ意味ニ於テ、ドノヤウナ方法カ講ジラレバヤウニ、能ク協議熟慮致シテ見タイト存ジマス

○酒井委員 御答ヘ御趣旨ハ能ク分リマシタ、唯私ハサウ云フ處罰規定ヲ設ケレバ、勿論家族ニ累ヲ及ボスト云フヤウナ法律ハ出來ナイ譯デアリマス、家族ヲ持ツテ居ル者ヲ追出スト云フノハ、具體的ニハ出來ナイノデアリマセウガ、威嚇的ニ一般社會ニ警告スルト云フ效果ハアルト思ヒマス、之ニ對シテハ別ニ御答ヘヲ求メル譯デアリマセウガ、サウ云フ意味デ何等カノ制裁ヲ設ケテ欲シイト思ツタノデアリマスガ、何等カ外ニ考ヘテヤラウト云フ御答辯デ、私ハ一應満足致シマス、委員長ニ伺ヒマスガ、マダ三項目バカリアルノデスガ……

○本田委員長 ソレデハ次會ニ譲ルコトニシマシテ、本日は是ニテ散會シ、明後月曜正十時ニ再開致シマス
午後零時五分散會

○古島政府委員 復興ヲ促進スル大妨害ヲナスモノハ、復權利デ左様ナ所ヲ占領スルモノダト云フコトハ、洵ニ御

議致シマシテ、之ニ依ツテ復興ヲ妨害サレルト云フ弊害ガ甚ダ多イノデアリマスカラ、是等ニ向ツテハ適當ナ處置ヲ執ルヤウニ、十分考慮致シテ見タイト思フノデアリマス

○酒井委員 恐ラク此ノ問題程土地關係或ハ建物關係ヲ妨害致シマシテ、其ノ權利者ヲ困ラスモノハナイ、其ノ弊害ヲ及ボスハ、恐ラク全國ノ都市ニアルト思フノデアリマスガ、單ニ今ノ御當局ノ御答ヘデハ、ヤハリ其ノ權利義務ヲ普通ノ裁判手續ニ依ツテ主張シ、裁判上片付ケルコトニ任セルト云フヤウナ御答辯デアリマスルガ、ドウシテモソレデハ此ノ整理ハ不可能ダト思ヒマス、此ノ問題ハ片付ケナケレバ、此ノ折角ノ立派ナ法律モ、實施ニ當ツテ其ノ實質的效果ヲ阻礙サレルコトガ大キイト思フノデアリマス、ソコデ私共考ヘマスルニ、サウ云フ者ニハ何等カ一ツ、此ノ際處罰規定ヲ設ケルト云フヤウナコトヲシテ戴キタイト思フノデアリマス、是ハ單ニ個人ノ土地ノ所有權ヲ侵害シタカ、或ハ其ノ他ノ個人的利益ヲ侵害シタト云フノ止マラナイノデアリマシテ、斯ウ云フ者ハ結局戦後ノ復興或ハ戰災者ノ保護ト云フモノニ對シテ、其ノ公ノ利益ヲ侵害スルモノデアリマシテ、法律ガ許サナイコトマデモ知ツテ居ツテ、尙ホ單ナル實行力ヲ以テ斯ウ云フ不法ナコトヲスルト云フコトハ、私ハ放置スベキ問題デハナイト思フ、單ニ民事上ノ訴訟手續ニ任スベキ問題デハナイト思フ、重ネテ御尋ネスルヤウデアリマスガ、何等カ處罰規定ヲ設ケテ戴ク御考ヘハゴザイマセヌカドウカ、御尋ネ致シマス

昭和二十一年八月二十三日印刷

昭和二十一年八月二十四日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局